

令和元年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
チームビルディング研修

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設を利用する団体の指導者で仲間作りに興味のある方が、当施設で指導を行う際に、効果的な指導を行い、活動の目的を達成するために、講義・演習を通して、技術や指導法を習得する。

2. 事業の概要

(1) 期日

第1回（体験会） 令和元年10月5日（土）～6日（日）1泊2日

第2回（指導者講習会）

令和元年11月30日（土）～12月1日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

当施設を利用する団体の指導者及び興味のある方

第1回（体験会） 32人

第2回（指導者講習会） 16人

② 参加者

第1回（体験会） 25人

第2回（指導者講習会） 13人

(3) 講師

第1回（体験会）

講師：谷山 典（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職付）

瀧田 正宏（国立吉備青少年自然の家 前主任企画指導専門職）

第2回（指導者講習会）

講師：杉村 厚子 氏

（株式会社プロジェクトアドベンチャー ジャパン トレーナー）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 参加者が当施設を利用する際に、目的に応じた効果的な指導を行うための知識や技術を段階的に習得できるよう、第1回及び第2回の内容を設定した。
- ② 第1回の体験会では、AP（アドベンチャープログラミング）講習を修了した当施設職員が指導にあたることで、職員のスキルアップにつながる機会とした。
- ③ 第2回の指導者講習会では、PAJ（プロジェクトアドベンチャー ジャパン）のスタッフが主体となるため、第1回の内容を事前に共有することで、参加者の指導の幅が広がるように計画してもらった。

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 第1回 (体験会)

10月5日 (土)		10月6日 (日)	
9:00	受付	6:45	起床・洗面・掃除
9:30	開会式	7:45	朝のつどい
10:00	講義・演習① (アイスブレイク)	8:00	朝食
12:00	昼食	9:00	講義・演習④ (ローエレメント)
13:00	講義・演習② (イニシアチブ)	12:00	昼食
17:15	夕べのつどい	13:00	講義・演習⑤ (体験学習サイクル)
17:30	夕食	16:00	閉会式
18:30	講義・演習③ (ビーイング)		
20:00	入浴		
21:00	情報交換会		
22:00	就寝		

② 第2回 (指導者講習会)

11月30日 (土)		12月1日 (日)	
12:15	受付	6:45	起床・洗面・掃除
12:50	開会式	7:45	朝のつどい
13:00	講義・演習① (アイスブレイク他)	8:00	朝食
17:15	夕べのつどい	9:00	講義・演習③ (ローエレメント他)
17:30	夕食	12:00	昼食
18:30	講義・演習② (体験学習サイクル他)	13:00	講義・演習④ (指導者視点での質疑応答他)
20:00	入浴	16:00	閉会式
21:00	情報交換会		
22:00	就寝		

(2) 活動状況

① 第1回 (体験会)



【開会式】



【講義・演習①アイスブレイク】



【講義・演習④ローエレメント】



【講義・演習④ローエレメント】



【講義・演習④ローエレメント】



【講義・演習⑤体験学習サイクル】

② 第2回（指導者講習会）



【講義・演習①アイスブレイク他】



【講義・演習②体験学習サイクル他】



【講義・演習③ローエレメント他】



【講義・演習③ローエレメント他】



【講義・演習③ローエレメント他】



【講義・演習④指導者視点での質疑応答他】

4. 成果・課題

(1) 満足度

- ① 第1回(体験会) 満足：87% やや満足：13%
- ② 第2回(指導者講習会) 満足：85% やや満足：15%

(2) 参加者の声

① 第1回(体験会)

ア. 「モヤモヤ」から「やったー」など、様々な気持ちをチームで共有することができて良かった。

イ. 1つのチームを作りあげる過程を体験することができた。

ウ. 体験会の内容は、職場や初対面の人と関わる時、複数人で一緒に何かを行うときなど、様々な場面で活かそう。

② 第2回(指導者講習会)

ア. 指導者としての視点で楽しく学ぶことができた。

イ. 第1回での経験から、さらに理解を深めることができ、自分なりに落とし込むことができた。

ウ. 指導者として、参加者にどのような声かけをすればよいのか、考え方を学ぶべきなのかということを経験していく中で実感することができた。

(3) 成果

- ① 第1回には青少年教育施設職員や教職員、法人ボランティアの方々が参加し、そのうち16人が第2回の参加を希望した。
- ② 今年度まで定員に満たない募集状況であったが、県内教職員の初任者研修などで早めの広報をすることで、例年より多くの方に参加していただくことができた。
- ③ 第2回の指導者講習会では、PAJ(プロジェクトアドベンチャージャパン)の講師に第1回の内容を踏まえた活動設定をしていただけたので、使用する教材などが同じ活動でも、バリエーションの変化を学ぶ機会となった。

(4) 今後の課題

これまでのチームビルディング研修に参加された方が、当施設の利用時にPAグッズの貸出やエレメントの使用など活用することが少なかったため、研修参加により得た知識や技術が活用できる場や機会を新たに提供していくことが求められる。

担当：企画指導専門職付 谷山 典